

# 本専門調査会の今後の進め方について

---

令和2年7月

内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）  
基本戦略第1グループ

# 新しいデジタル技術の活用とリスクマネジメント ～DX with Cybersecurity～

- あらゆる要素がデジタル化されていく“Society5.0”に向けて、足元では、ビジネスモデルを抜本的に変革(DX：デジタルトランスフォーメーション)し、新たな成長を実現する企業も出現。
- **DXによる効果を最大限に享受する**ためには、事業に致命的な影響を与えるリスクの洗い出しを行うことが重要であり、そのリスクの1つとしてデジタル技術の活用に対応する**サイバーセキュリティへの対応は最も重要な柱**である。（「サイバーセキュリティ2019」）
- 次の「**サイバーセキュリティ戦略**」に向け、**“DX with Sybersecurity”を推進していくための人材育成・確保に向けた方策を検討**していく必要がある。

## DX（デジタルトランスフォーメーション）とは…

“企業が外部エコシステム（顧客、市場）の破壊的な変化に対応しつつ、内部エコシステム（組織、文化、従業員）の変革を牽引しながら、第3のプラットフォーム（クラウド、モビリティ、ビッグデータ／アナリティクス、ソーシャル技術）を利用して、**新しい製品やサービス、新しいビジネス・モデルを通して**、ネットとリアルの両面での顧客エクスペリエンスの変革を図ることで価値を創出し、**競争上の優位性を確立**すること”

2018年9月『DXレポート』（経済産業省 デジタルトランスフォーメーションに向けた研究会）

# 新型コロナにより加速する「新たな日常」への移行

- 新型コロナウイルスによる社会変容に伴う、**家計消費行動の変化**や**テレワークの浸透**等により、サイバーセキュリティ人材を取り巻く環境は大きく変化しつつある。
- 次の「**サイバーセキュリティ戦略**」では、こうした環境変化も踏まえた「**アフターコロナ・ウィズコロナ**」時代の**人材育成・確保に向けた方策を検討**していく必要がある。

**家計消費行動の変化**  
↑ 宅配・ネットショッピング、保健医療、ゲーム・コンテンツ  
↓ 旅行、レジャー、飲食店、百貨店

**テレワークの浸透**  
都内企業の導入割合 24%(3月)⇒63%(4月)  
(出所)東京都によるアンケート調査

**産業構造の変化**  
フィジカル⇒デジタル加速

**サービスのDX化**  
オンライン教育(GIGAスクール)  
オンライン診療にも拡大

**キャッシュレス進展**  
「以前より利用増」40%  
(出所)マネーフォワード

**テレワークの定着**  
「収束後もビデオ会議」24%  
(出所)Global Web Index

**地方勤務・移住**  
20代「以前より積極的」36%  
(出所)株式会社学情

**兼業・副業**  
「今後一般化する」60%  
(出所)フリーランス協会

← 相互に影響しあう →

**5Gインフラ加速**  
平日昼間通信 最大50%増  
(出所)NTT

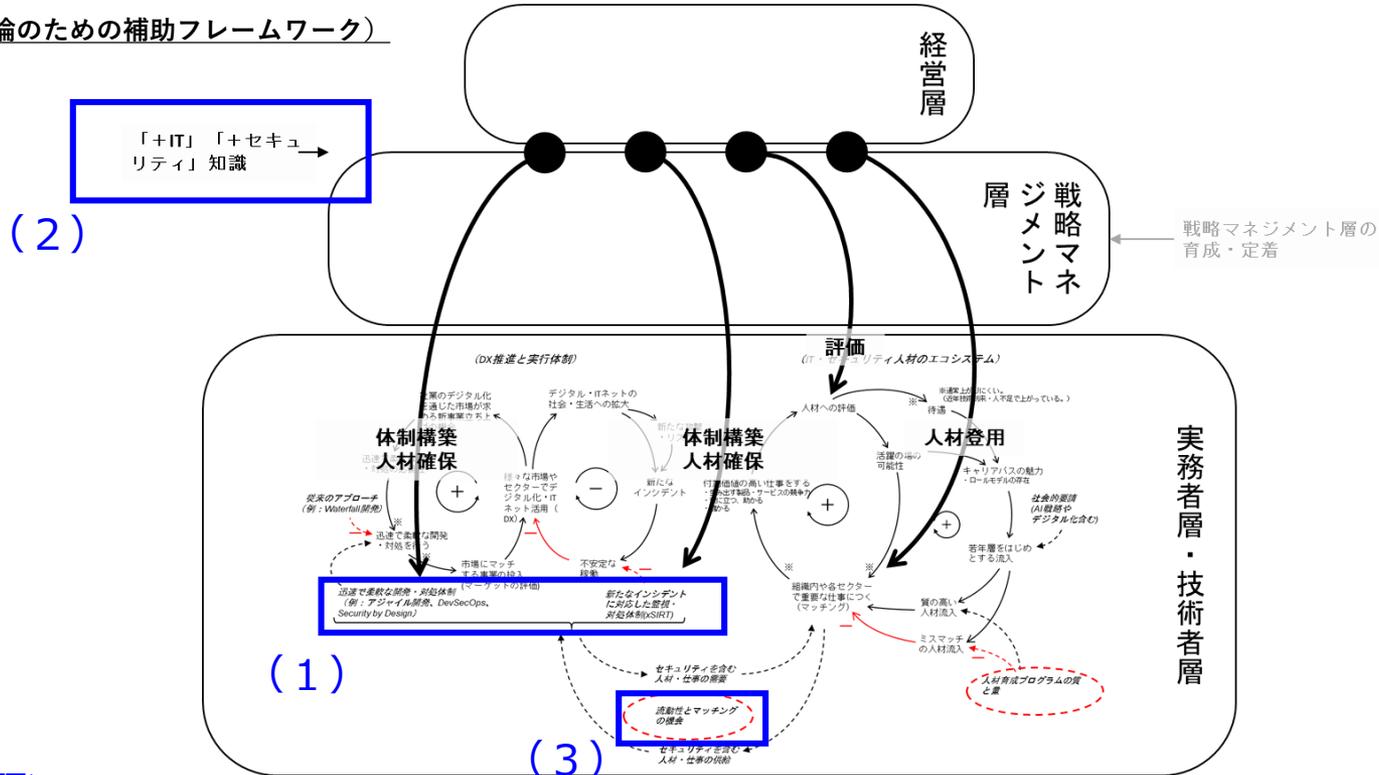
## <サイバーセキュリティ人材を取り巻く環境変化>

- ① **DX推進に向けた社会的要請の増大・活躍の場の拡大**  
→ サイバーセキュリティの観点ではリスクも増大。「DX with Cybersecurity」の推進が必要。
- ② **需要・供給両面での労働市場の活性化**  
→ マッチングの問題が顕在化するおそれもあり。

# “DX with Cybersecurity”推進に向けた主な政策課題

- これらの環境変化の中、適切なアプローチなかりせば、負のスパイラルに陥る可能性がある。
- 今後、**環境変化に応じて対応が求められる課題を、「主な政策課題」として同定し、今後インテンシブに議論を行っていききたい。**

(政策議論のための補助フレームワーク)



## ＜主な政策課題＞

- (1) サイバーセキュリティ確保のための新たな開発・監視・対処体制の構築
- (2) DXに必要な「プラス・セキュリティ」知識を補充できる環境・人材育成の推進
- (3) サイバーセキュリティ人材の活躍の促進に向けた流動性とマッチングの機会の促進